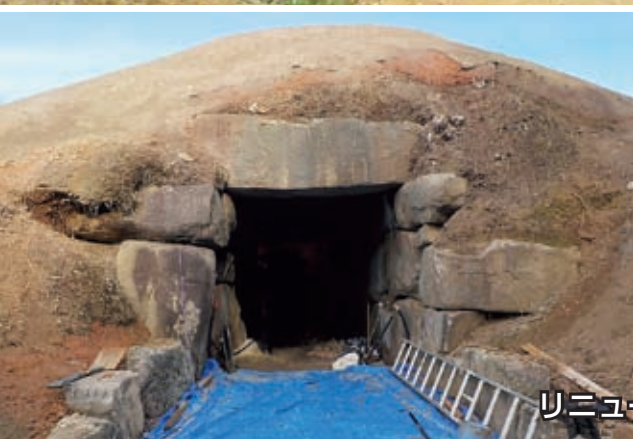


議会だより

題字は、濃南中学校2年生 内木翔也さんの作品です。

発行：土岐市議会 編集：議会だより編集委員会 TEL0572-54-1111 FAX0572-54-8971 E-mail：gikai@city.toki.lg.jp



リニューアルオープンに向けて工事中

Contents

- 第5回定例会報告…………… 2～3ページ
- 委員会報告…………… 4～5ページ
- 一般質問…………… 6～12ページ
- 行政視察報告…………… 13ページ
- 議会報告会、編集後記…………… 14ページ

国指定史跡「乙塚古墳附段尻巻古墳」

乙塚古墳は古墳時代後期に造営され、東濃にある500を超える古墳の中で最も立派な石室をもつ古墳として知られています。隣接する段尻巻古墳と合わせて、昭和13年に国史跡に指定されました。現在は整備工事中ですが、令和3年度に、駐車場とトイレも備えた文化・観光施設として、リニューアルオープンの予定です。

令和元年 第5回定例会報告

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第89号	令和元年度土岐市一般会計補正予算（第4号）	補正額 △11,731千円
議第90号	令和元年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	補正額 1,535千円
議第91号	令和元年度土岐市介護保険特別会計補正予算（第3号）	補正額 8,046千円
議第92号	令和元年度土岐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	補正額 2,630千円
議第93号	令和元年度土岐市病院事業会計補正予算（第2号）	令和元年～4年度 債務負担行為補正 585,000千円
議第94号	令和元年度土岐市下水道事業会計補正予算（第1号）	職員給与費の流用額等
議第95号	土岐市行政不服審査法施行条例及び土岐市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	法律の改正に伴い、法律名の改正及び条ずれが生じたため、関係条例について、所要の改正を行うもの。
議第96号	土岐市職員定数条例の一部を改正する条例について	土岐市病院事業の指定管理者制度への移行に伴い、職員定数を見直すため。
議第97号	土岐市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、非常勤職員の育児休業及び部分休業についての整理を行うため。
議第98号	土岐市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、非常勤職員の公務災害補償等についての整理を行うため。
議第99号	土岐市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	令和元年人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じて、当該条例を改正するもの。
議第100号	土岐市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	令和元年人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じて、当該条例を改正するもの。
議第101号	土岐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	令和元年人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じて、土岐市職員の給与に関する条例等を改正するもの。
議第102号	土岐市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	災害弔慰金の支給等に関する法律および災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の改正に伴い、災害援護資金の利率及び償還等について変更するため。
議第103号	土岐市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例について	施設の名称を変更等するため。
議第104号	岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岐阜県市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について	令和2年3月31日をもって脱退する中濃地域農業共済事務組合、東濃農業共済事務組合及び飛騨農業共済事務組合を組合市町村から削るため、規約を変更するもの。
議第105号	土地の処分について	市有地である土岐市妻木町字西山3247番地11外6筆を30,482,896円で、丸美陶料株式会社代表取締役小川計爾へ売却しようとするもの。
議第106号	専決処分の報告及び承認について 専第16号 損害賠償の額を定めることについて	損害賠償額 1,622,469円
議第107号	令和元年度土岐市一般会計補正予算（第5号）	補正額 8,685千円
元請願第2号	国民健康保険に対する国への要望を求める請願	

第5回定例会には、予算関係7件、条例関係9件、その他の案件3件の合計19件が市長から上程され、請願が1件提出されました。（※元請願第2号は、委員長報告「不採択」に対する賛否を表しています。）

○：賛成 ×：反対

議案番号	議決結果	後藤正樹	安藤学	小関篤司	水石玲子	水野哲男	各務和彦	和田悦子	北谷峰二	鈴木正義	山田正和	後藤久男	加藤淳一	加藤辰亥	楓博元	杉浦司美	高井由美子	小栗恒雄	西尾隆久
議第89号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第90号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第91号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第92号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第93号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第94号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第95号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第96号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第97号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第98号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議第99号	可決	○	○	×	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第100号	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第101号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○
議第102号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第103号	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第104号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第105号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第106号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第107号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
元請願第2号	不採択	○	○	×	○	○	○	×	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○

委員会報告(総務産業建水委員会)

令和元年度土岐市一般会計補正予算(第4号) 所管部分

質疑 債務負担行為補正のセラトピア土岐天井耐震化事業について、耐震工事の箇所は。

答弁 1階大ホールと玄関の天井の2ヶ所である。

質疑 工期は来年4月から12月を予定しているが、その間、使用できなくなるのか。

答弁 大ホールについては、工事期間中使えない。

令和元年度土岐市下水道事業会計補正予算(第1号)

質疑 今回の特例的収入及び支出の補正について、来年度以降も生じるものか。

答弁 公営企業会計への移行に伴うものであり、今年度のみのものである。

土岐市職員定数条例の一部を改正する条例について

質疑 一般部局、教育委員会合わせ25名を増員する理由は。

答弁 現在欠員が生じている中で、過重な負担がかかっている部署への配置と新しい行政課題に対応するためである。

質疑 医療職からの任用替は何名か。

答弁 任用替採用選考を実施し、最終的に6名が任用替される。

土岐市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 法律の改正により、非常勤職員の待遇が改善されるのか。

答弁 会計年度任用職員が制度化されたことにより、民間と同様に付与するもの。

土岐市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について

討論 サラリーマン等の給与所得は減少し、消費税増税により消費も落ち込んでいる。景気回復を実感できない国民が7割以上いると言われる現状では、議員報酬を引き上げる環境ではないため、この条例に反対する。

土地の処分について

質疑 鑑定価格は、どのように算定されているのか。

答弁 地目が、山林と保安林となっているが、全体として評価し、平米単価1500円と算出した。

土岐市一般会計補正予算(第5号)

質疑 土地を売買するにあたって、隣接する県有地を取得する理由は。

答弁 開発対象地域への進入路等で一体利用が見込まれるため。



委員会報告(文教厚生委員会)

令和元年度土岐市一般会計補正予算（第4号） 所管部分

質疑 障害者総合支援費の扶助費について、増額補正の理由は。

答弁 就労継続支援 A 型の施設利用者が、今年度月平均で 22 名、給付単価の高い B 型へ移行されているため増額する。

令和元年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

質疑 在留資格を確認するためのシステム改修であるが、対象者は何名いるのか。

答弁 特定技能第 1 号、第 2 号の方の在留資格を確認するためのシステム改修であるが、現在、対象者はいない。

令和元年度土岐市病院事業会計補正予算（第2号）

質疑 債務負担行為補正の医療資源確保対策事業について、現在、移籍の確定していない職員分も現給補償の対象者として積算しているのか。

答弁 現段階で職員の移籍者数は流動的であるため、現在在籍する職員数で積算している。

質疑 現給保障期間を 3 年間とした理由は。

答弁 先行事例を参考とし、3 年間で妥当であると判断した。

土岐市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 保証人をなくす改正であるが、償還が困難になった場合、どのような措置をとるのか。

答弁 被災者支援という趣旨の貸付制度であり、返済が困難となった場合には、救済措置も認められているため、保証人を付けないこととした。

質疑 措置期間経過後の利率は年 3 %以内とし、規則に委任しているが、何%を想定しているか。

答弁 近隣市も同様であるが、無利子を予定している。

土岐市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例について

質疑 岐阜県厚生農業協同組合連合会東濃中部医療センターという冠を付けた名称変更であるが、看板の付け替えなどの費用は発生しないのか。

答弁 現在の名称を残したうえで、冠を付けたものであり、看板の付け替えは特に考えていない。

質疑 指定管理者収入分の消費税の改定であるが、どの程度影響があるのか。

答弁 実費分の差額ベッド代、検診料等の利用料金に影響がある。

討論 消費税増税分を転嫁し、市民の負担増となるこの条例に反対する。

国民健康保険に対する国への要望を求める請願について

意見 平成30年度の国保制度改革以降、国保財政基盤の強化のため、3400億円の財政支援がなされており、その推移を検証する必要がある、新たに 1 兆円を投入して応益割廃止を求めるこの請願は不採択としたい。

意見 均等割、平等割という応益負担分が、多子世帯ほど保険料を上げてしまっている。現在の国保制度は子育て支援と逆行しているため、この請願を採択したい。



一般質問

12月議会では、12名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。

議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。

土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして、詳細をご覧ください。

一般質問へのアクセス方法

視聴の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒

どちらかの方法

議会ライブ中継 ⇒ 議会の日程から選ぶ
⇒ 視聴したい日にち ⇒ 一般質問
議会ライブ中継 ⇒ 議員の名前から選ぶ ⇒ 日時を選ぶ

文書の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

●保育料無償化制度について
●十月の消費税の増税による一部を財源に、幼保育料の無料化に伴い、国ベースで三三八二億円を計上し、利用者は三百万を見込んでいます。土岐市での、保育料無償化の財源と利用者数についてお答えください。

●保育料無償化制度に伴う市内での対象者は、すでに認定を受けている、幼稚園・保育園・こども園等に在籍されている園児数は一〇三〇名というところでございます。無償化に伴います今年度新たな財政措置として、国が子ども・子育て支援臨時交付金という制度があり、当初予算で一億一四五八万円を計上しています。

●十月にスタートしたばかりの保育料無償化の財源が、国ベースで早くも数百億円の財源不足することが分かります。国の制度設計の甘さが露呈した格好であります。この制度において土岐市として、どの程度の財源不足が生じるのかをお答えください。

●十月からスタートした保育料無償化制度に当たりまして、必要となる



● 小栗 恒雄 ●

財源につきましては、全金額を国が負担することになっており、あくまでも子ども・子育て支援法の一部改正する法律の中で、きちんと臨時交付金の交付が明記されており、国ベースでの財源不足ということではありませんが、市において財源不足が生じることとは考えておりません。

●保育料は幼稚園より園児一人当たりにかかる費用が高いため、来年度から幼稚園より保育園の利用者が増えることが予想されており、来年度の市内の幼稚園の定員割れする恐れがあります。逆に保育園の定員オーバーが見込まれます。しかし、土岐市内の保育園の定員というものはおのずと限界があり懸念されます。来年度からの幼稚園・保育園の入所者数の見通しについてお答えください。

●幼稚園のほうで若干利用人員の減少が考えられますが、極端に定員が少ない場合は、その縁において、その年齢の事業を注視するか、場合によっては混合クラスを編成することもあると考えられます。幼稚園の募集要綱等に記載させていただいており、そういった対応を図る可能性があると考えています。また、保育園の定員を超える場合は、入所調整を実施する可能性があります。その調整により現在のところ、保育園に入所できない方は無いと考えています。



和田悦子

◆気候変動解決に向けてゼロウェイスト（ゴミゼロ）へ

問 国連気候変動枠組条約締約国会議COP25がマドリッドで開催され、CO₂の排出ゼロを呼びかけました。ゼロウェイストとは廃棄物をどう処理するかではなく、ゴミを出さない社会の仕組みに変えていこうというものです。土岐市はゴミ抑制に関して市民への働きかけは。

答 広報やホームページ、ゴミのガイドブックを全世帯に配布している。

問 啓発の今後の課題について。

答 前年と比較すると月ごとの減少率が次第に悪くなっているという傾向も見受けられる。ゴミ減量について意識を持続できるように啓発の仕方を工夫して取り組んでいきたい。

◆ペットボトル飲料容器ゴミ削減について

問 ペットボトルは地球温暖化や海洋汚染の原因となっている。資源回収日には回収箱からはみ出ている状況である。環境センターに持ち込まれる量について。

答 平成29年度124トン。平成30年度141トン。リサイクルの搬出量は、それぞれ110トン、120トン。

問 平成30年度は22トンが焼却され、CO₂が発生している。極力、ペットボトルは燃やさないに限り、1回しか使わないワンウェイ容器のリサイクルにかける回収コストと収益について。

答 ペットボトルを含めた資源物の関係経費は平成29年度3600万円、平成30年度4193万円。収益はそれぞれ1874万円、1775万円。

問 リサイクルには自治体の負担増と、利用する人、利用しない人の不公平も生じる。市長の考えは。

答 我々の生活を見直す機運を高めていくことが大事かと思っている。

◆小山富士夫郎について

問 小山邸、花の木窯の位置づけは。

答 平成19年に遺族より作品、資料など譲り受けた。小山さんが住んでみえたことは認められると思うが、それら自体に文化的な価値は認識しておりません。

問 加藤市長は小山氏に対してどのような感想をお持ちか。

答 小山氏の功績・偉業は市民の皆さんにも知っていただきたいと思っている。折にふれて考えていきたい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



高井由美子

◆台風19号について

問 避難の状況や、被害の状況など、市の取り組みをお伺いします。

答 10月9日、11日に市長を含め台風19号接近に伴う災害対策の本部員会議を開催し、台風情報の共有、各部局の準備状況の確認、自主避難所、避難所の開設の確認、その他、水防倉庫の資材、土のう用の砂、水門、ポンプ等施設、用水路、教育施設の確認等を台風接近前に実施した。市民への周知は防災無線、メール、ホームページ等で不要不急の外出を控える等の注意喚起を行った。

12日暴風警報発表、早めの避難を促すために警戒レベル3、避難準備・高齢者等避難開始を発令。

市内7ヶ所に避難所を開設した。避難者17名、14世帯。被害として、倒木5件、いずれも当日撤去できた。

問 マイ・タイムライン、逃げ遅れを防ぐ対策、住民一人ひとりの防災計画の普及啓発をお伺いします。

答 県において、災害避難カードの作成を推奨している。

各自治会においてDIG、図上訓練の際、災害避難カードの一部を配布。訓練内容を改善した。

今後、広報などで周知する。

問 自主防災組織による地区防災計画の策定について、土岐津町では公民館の主催による防災フェスタが毎年開催されます。また、上田町内会では独自で防災訓練も実施されています。自助・共助が重要となる災害時に備えて地区防災計画の策定が必要と考えます。

市として普及啓発、サポートについてお伺いします。

答 地域における防災力を高めるため、各自主防災組織が地区防災計画の作成に取り組めるようモデル案を提供したり、計画作成のサポートとして、専門家の派遣等、また支援等、検討してまいりたい。



土岐津町防災フェスタの様子



加藤 淳一

◆マイナンバーカードについて

問 現在市民の方でカードを取得されている方は何人で、全体の何%か。

答 11月1日現在で総務省が自治体ごとの交付枚数を発表しておりますが、これによると、土岐市は4817件という数字になっております。全体としては、8・2%です。

問 土岐市では取得者をふやすために今までのような対策を立てられましたが。

答 これまでは、広報ときですとか、ホームページ、ポスター、チラシ、動画モニターなどにより周知、広報活動を行ってきたところです。

問 国の普及策を成功させるための土岐市としての独自の対策は、何か考えていますか。

答 土岐市においても、マイナンバーカードの交付円滑化計画というものを国のほうで作成することを求められておりまして、令和4年度中には93%程度の市民の方に取得を進めるという計画を策定したところです。数字については、かなりハードルが

高いものと認識しておりますが、それに向けていろいろなことをやっていく必要があるかということ、そのカードを取得するための窓口も、市にとどまらず、出張窓口というような検討ですとか、そういったことを考えておるところです。また、自治体については、そういった促進策の周知に努めてほしいということ、そのういった周知、広報ということに力を入れてまいりたいと思っております。

◆公共施設の統廃合について

問 土岐市の公共施設管理計画が策定されたと思いますが、その内容と現在の進捗状況を教えてください。

答 土岐市においては建築後30年以上経過した施設が床面積ベースで半数以上となりまして、大規模改修時期を迎えているところです。これら全ての建物を保有し続けた場合、多額の費用が必要となりますので、施設の総量の適正化や長寿命化の取り組みを進め、維持管理の平準化や削減を図ることを主な基本方針としておるところです。現在、この計画に関連し、個別施設計画を取りまとめました。仮称ですが、土岐市市有建物長寿命化計画（案）の策定を進めておるところでございます。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



加藤 辰亥

問 市の事業の説明会について。

答 近年開催しました各種の説明会で、ここ3年間の開催したものでお答えします。

市域全体に影響するものとしては家庭ゴミ処理手数料有料化説明会や幼児教育・保育無償化説明会など、4種類、23回開催しました。

また、現場説明会など特定地域の市民の方などを対象としたものとしては、中山鉦山周辺土地利用促進事業工事説明会や濃南地区小規模特認校導入説明会など19種類、43回の開催をしました。合計しまして23種類、66回の説明会を開催しています。参加された人数はこの3年間で先ほどの66回の説明会では1747名ほどの方に参加をいただいております。そのうち9回につきましては、参加者数の把握ができていなかったため、実際の参加者はもう少し多くみえるかと思えます。

ちなみに、家庭ゴミの処理手数料の有料化説明会におきましては、16回で341名、それから幼児教育・

保育の無償化説明会につきましては、4回で85名の方に参加をいただきました。

また、特定地域を対象とした案件の中山鉦山周辺土地利用促進事業工事説明会には6回で370名、濃南地区の小規模特認校導入説明会では1回ですが70名の方の参加をいただいております。また、どのくらの意見が出たかですが、この3年間の説明会の66回で257の意見、ご質問をいただきました。ただし、この66回のうち3分の1程度、22回については意見の数を把握できていませんでしたので、全体的にはこの件数よりも多いものだったと思っています。また、ごみ手数料の説明会では115件、幼児・保育の無償化説明会では8件のご意見等がありました。また、中山鉦山の工事説明会では44件、濃南地区の特認校導入については、ご意見の数が記録として残っていませんので把握をしていません。

問 パブリックコメントについて

答 土岐市パブリックコメント手続要綱が平成24年4月1日に施行されました。24年度7回、25年度3回、26年度6回、27年度6回、28年度4回、29年度6回、30年度4回、今年度は1回実施しています。意見等は、この37回で517件ありました。



西尾 隆久

問地域の歴史・資源・文化・伝統・観光関連施設等の案内看板について設置形式、設置場所、市が関与、補助により設置したものは。

答岐阜県の屋外広告物条例により、一定規模以上の看板を設置する場合申請が必要となり、申請があった屋外広告物に該当する自家広告物、案内用看板については、土岐津65件、下石38件、妻木11件、鶴里7件、曾木3件、駄知8件、肥田23件、泉95件、合計252件。

問看板等の維持管理について。

答安全という面だけで、歩行者の方に支障があるとか、安全点検については、更新申請の時から必要となり、やらないと次回の更新はできない。指導は毎月、市の職員が屋外広告物を巡回しており、危険があれば申請者に報告している。

問補助金等を活用した看板について。

答看板のたて替え、維持補修については土岐市のまちづくり支援事業補助金があり、住みよい地域社会の活性化を図ることを目的に、市民生活に係るさまざまな分野において市民が行

う公共性、公益性のあるまちづくりに関する活動に対して交付される。

問SNS等での情報発信・観光大使等の発信力について。

答市においては、SNSを使った情報発信は行っていないが、市の観光協会において、情報やツイッターやフェイスブックで情報発信はしている。観光大使については相手もあるので、その可否を含め今後の検討課題とさせて頂きたい。

問家庭から出るごみについて、昨年4月から家庭ごみの処理手数料の有料化が始まり、どのような状況か。

答平成30年度の同時期比較で約4・8%の減量となっており、市民の皆様のご理解とご協力によるもので、大変感謝している。ただ、有料化後1年以上が経過して、前年を上回る月も出てきている状況で、引き続きごみの減量化にご協力をお願いするものでございます。

問資源ごみの年間収入について。

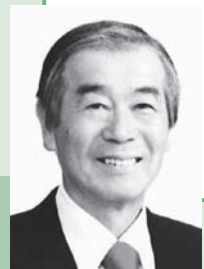
答日本容器包装リサイクル協会へ搬出したペットボトルの有償排出金配分で、この数字を合計したものが、29年度で1874万円、30年度で約1775万円となっている。

問高齢者家庭のごみの種類について。

答国の制度で高齢者世帯に対するごみ出し支援という制度が創設され、実態調査をし、検討したい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



鈴木 正義

◆「広報とき」の発行について

問発行に関する費用について「印刷代、配送費、配布謝礼金」などの内訳について教えてください。

答費用につきましては、印刷代、運送業者に委託し町内会長への配布の委託料、町内会長による広報配布への謝礼金となります。謝礼金につきましては、広報と一緒に各種配布物を一括して配布して頂いていることも含まれております。

問土岐市と同様に発行を月に2回以上発行している市はどのぐらいありますか。

答岐阜県下では6市が月に2回発行しております。

問今後、発行回数を月1回にされる検討されていますか。

答「6月議会」でのご指摘や、連合自治会などの代表者の方々と実施した「広報広聴活動の在り方について検討会」にて月1回発行への肯定的なご意見をいただいたことをふまえ、月1回発行について早急に検討を進めてまいります。

◆児童館の今後について

問土岐市の児童館設置場所及び各施設の築年数を教えてください。

答児童館が、土岐津町、妻木町、泉町の3か所。児童センターが下石町、駄知町、肥田町の3か所がございます。築年数につきましては、土岐津、妻木、泉児童館が50年ほど経過しております。各施設に2、3名の職員を配置し、年間7千人から1万7千人ほどの方々が利用されております。

問耐震性及び老朽化について問題はないのでしょうか。

答耐震性につきましては、基準値を上回っており問題はございませんが、建設後40年以上経過している建物については老朽化が進んでいることから、皆様が安心してご利用いただけるよう優先順位等を考慮し、修繕や改良に対応しております。



妻木児童館



● 杉浦 司美 ●

◆ 運転免許証自主返納事業について

問 近年高齢者の運転による交通事故が多発している中、土岐市では、平成30年4月より高齢者の運転免許証の返納支援を目的として免許証返納者へバス回数券若しくはタクシー回数券を交付する事業を実施している。今年度、既に前年度を上回る交付実績となっているが、その要因は。

答 大きな要因としては、高齢者による自動車事故が、連日報道機関に取り上げられたこと、また、5月1日号「広報とき」で運転免許証の自主返納について大きく掲載したことなどにより件数が伸びたと考えている。

問 市が税金を投入して、免許証の返納を促進するには、限度がある。全国的には、企業独自に食材の宅配や灯油の配達をサービスで行うなど、地域全体で取り組んでいる事例も見受けられる。土岐市でも、企業独自の割引サービスを提供していたくなど、企業に働きかけをし、地域全体で免許証返納の促進を図るよ

う取り組んでみてはどうか。

答 この地方でも、路線バスの運賃が半額になる制度を開始するなど企業による支援の動きが広がっている。行政だけではなく、地域社会全体で運転免許証の返納促進に取り組んでいくことが重要だと考えている。

◆ 地域交通について

問 駄知町では、今年の6月から、駄知町内会連合会、土岐市と東鉄タクシーの共同運行による「駄知どんぶりバス」の運行が始まったが課題は。

答 現在、市の補助金、運賃収入、広告収入だけで運行経費を賄うまでには至らないため、地元自治会からの負担金で欠損分を補てんしている。利用者数を増やすことや広告収入等の営業外収入を増やすことが課題と考えている。ダイヤ改正や停留所の検討など、町民が使いやすいものにしていくことや広告収入を増やすための営業活動が必要であると考えている。

問 仮に下石で同様の事業を展開して行こうとした場合、地域性から問題となることは何か。

答 下石町は、民間のバスが東西南北方向に運行しており、民間路線と重複しないよう、また、町民が利用しやすいよう地域路線を検討する必要がある。

《第5回定例会一般質問》

● 印は議員の意見・提案



● 水石 玲子 ●

◆ 人と動物の共生社会をめざして

問 本市の野良猫対策の現状は。

答 動物の愛護及び管理に関する法律で、動物所有者の責務として、終生適切な飼育をすることとされている。広報やホームページで啓発している。

問 近年の苦情件数と苦情内容は。

答 30年度、5件。今年度、5件。

内容は、野良猫に餌付けをして、敷地内にふん尿をして困るという相談が多い。相談対応には、市の職員と保健所の職員の2名で現地へ伺う。

問 野良猫を含む猫の不妊去勢手術費用の助成の考えは。

答 国の情報等を注視した中で検討していく。

◆ おもいやり駐車場について

問 ぎふ清流おもいやり駐車場の利用証の交付対象者への周知方法は。

答 市役所関係窓口でのチラシ配布ポスターの掲示、10月15日号の広報にて関連記事を掲載し周知している。

問 今後の課題は。

答 利用証に有効期限があるため、更新されないで利用される場合があるのではないかと、又は、利用者間、利用者と施設のトラブルになる可能性があるのではないかと心配している。



おもいやり駐車場

◆ 人生100年時代の健康づくり

問 本市のフレイル予防の現状は。

答 公民館10ヶ所で行っている、はつらつ元気塾、地域の集会所等での地域はつらつ元気塾を開催している。65歳以上の高齢者を対象に運動機能の向上講座、栄養講座、口腔機能向上講座を実施している。

問 健康寿命の延伸について、高齢者健康都市を目指すフレイル予防の推進について、市長の決意を伺います。

答 超高齢社会に突入いたしましたし、市民の健康寿命を延ばすためのフレイル予防は大変重要であります。来年度からフレイル検診が始まる。今後、全世代型の健康延伸事業に、全庁的に取り組んでまいりたい。



● 後藤 正樹 ●

◆多文化共生社会の実現について

問本年4月の改正入管法施行により、特定技能という在留資格が創設され、本市の外国人住民数も増加していくことが予想されるが、外国人住民の状況と今後の見通しについて、どのような認識を持っているか。

答1854人、33カ国の外国人住民が暮らしている。今後も、その数は増加すると認識している。

問人口減少が続く本市の活力を維持し、持続可能な地域社会を確立するためには、地域社会の一員として、外国人の定着を図り、日本のルールや、地域の慣習に従って暮らしていくようにする必要がある。日本人住民と外国人住民が、信頼し合い、安心して安全に暮らせる地域社会を実現し、土岐市の伝統や文化、よいところはそのまま残し、変えた方がいいところ、変えてもいいところは、お互いのために変えていく。そんな共生社会の実現ができればいいと思うが、目指すべき多文化共生社会のかたちについて、市長はどのような

考えを持っているのか。

答外国人も地方自治法上、日本人と同じ住民であり、同じ生活者として、安心・安全に生活できるように配慮する必要がある。その上で、国境を越えた市民参加社会の実現を目指すべきだと考える。

問外国人児童・生徒の状況はどうか。

答130人、14カ国の児童・生徒が市内の小・中学校に在籍している。その一方で、8人の外国籍の子どもの就学が確認できていない。

●外国人住民の子ども世代は、地域社会の新たな担い手として育成していくべきであると考えているので、就学支援や日本語教育等を、今後さらに積極的に進めてもらいたい。

◆観光資源の活用について

問三国山キャンプ場の運営状況と、今後の方向性について聞きたい。

答平成18年度から指定管理を導入し、管理委託料は207万2千円。他に関連予算として、45万4千円を計上。利用者数の推移や費用対効果に鑑み、存続の必要性も含めて検討していく。

問豊かな自然と、良好なアクセスという地の利を生かし、旧鶴里・曾木小学校に、初期投資の少なくて済むオートキャンプ場を設置することはできないか。

答市有地の活用方法の一つの選択肢として考えていきたい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 各務 和彦 ●

◆住宅火災警報器の設置について

問土岐市の火災警報器の設置状況について。

答設置率については、設置啓発と維持管理を促す目的に、市内の全世帯から調査世帯を200件無作為抽出して戸別訪問し、住宅火災警報器の効果等PRするとともに、設置状況や維持管理の状況について調査。令和元年度6月1日現在の設置率は、土岐市は79%。

問近年の火災発生宅の警報器の設置状況について。

答平成29年中の一般住宅火災は7件発生し、警報器の設置住宅は2件。平成30年中は、一般住宅火災が6件。そのうち警報器の設置住宅は1件。本年に入り10月までの状況で、一般住宅火災が6件発生し、設置住宅は1件。3年間の市内発生住宅での設置状況は20%前後と低い状況でした。

問高齢者宅への主な啓発活動について。

答独居高齢者宅への防火啓発活動としまして、平成29年度からは秋季火災予防運動期間中に個別訪問を実施しており、住宅用火災警報器の設置啓発と維持管理とともに、ストーブなど火器取扱いでの注意点等住宅防火指導を行っているところで、今年度はさらに9月の敬老の日前後と11月の秋季火災予防期間中に137軒を訪問し、防火指導をしております。

問独居高齢者への機器設置状況及び交換等について提言。民生委員さんとの連携及び現状調査等についてのお考えは。

答高齢者の火災による被害軽減のため、住宅防火対策は重要な火災予防行政でございます。高齢者と接する機会の多い民生委員さんの協力を戴ければ、効果的な指導もできるものと考えておりますので、消防本部としましては、関係機関との連携も検討し、住宅用火災警報器の設置率及び維持の向上に努めてまいりますので、よろしく願います。

◆乙塚古墳附段尻古墳整備について

問現場見学会の開催等について。

答こうした貴重な機会を利用して、古墳の構造や現在行っておりまます整備工事について理解を深めて戴くために、来年度の春以降に見学会を行いたいと考えております。



● 小関 篤司 ●

◆土岐市立総合病院の今後について
 問4月からの指定管理に向け、市民ニーズを踏まえた医療、安心の医療体制確保が来ていますか。

答総合病院では、現在医師23名から4月に21名。看護師125名から93名。技師54名から45名。病院と老健合わせて、正職員は253名から182名、医師を除く非常勤職員は143名から127名が移籍を希望している状況で、今後もJ A厚生連と協力し、確保に努めます。

問議会報告会や市民の声として、総合病院に対する不満、不安、誤解が広がっているように感じます。新体制では公設公営より医療提供体制の向上につながるということですが、金銭面以外で良くなる部分は。

答現状維持を目標に、そこから上積みを考えています。4月以降経営者は同じになり、東濃厚生と土岐総が協力し合い、人事交流が盛んになると期待しています。(市長)診療科の問題など一概に医師数がこれだけだから大丈夫とか、ダメだとは言いきれない。スタ

ートの段階である程度のレベルの維持を確保したいと思っています。さらに上のステップを目指すには、時間が要すると思います。努力も今後指定管理者でもしていく必要があると思っています。

問次に1病院化(統廃合)について基本構想を検討するなかで、土岐市のビジョンはどのようなものか。

答ビジョンは高度急性期以外の急性期から回復期について、この地域において医療が完結する、あるいは介護系の施設等も必要で、その中で核となる病院を目指します。基本構想については、まだそこまでは至っていないのは事実ですが、そのためにネットワーク化を進め、指定管理で土岐総の充実を図る。その先に1病院化が存在すると考えています。

問市民説明会については。

答今の段階やるかどうか明確に答えるタイミングではないと考えます。

●検討会も市民傍聴できるようになり、見えやすくなりました。さらにもう一歩進めて、市民と一緒に考えてる取り組みを進めてください。

◆加齢性難聴の補聴器購入助成について

問軽度・中度の加齢性難聴に対する補聴器の購入助成導入の考えは。

答(市長)障がい者支援のカテゴリーから、どこまで広げるかは難しい。国の議論を見ながら考えていきたい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

次回3月定例会(予定)

※午前9時 開会予定(変更の場合あり)

日	月	火	水	木	金	土
2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29
			本会議 初日 (議案提案説明)			
3/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 2日目 (質疑・委員会付託・一般質問)	本会議 3日目 (一般質問)	本会議 4日目 (一般質問)	文教厚生委員会	文教厚生委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	総務産業建水委員会	総務産業建水委員会				
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31			本会議 最終日 (委員長報告 質疑・討論・採決)	

行政視察報告

総務産業建水委員会



京都府向日市(令和元年11月7日)

京都府向日市は、面積において全国的にも3番目に小さな市であり、古墳が点在し、JR線駅・阪急京都線駅が2駅と通勤・通学型都市です。環境美化に対する市民意識の高揚を図り、市と協働して良好な生活空間を創出する目的として、「道路美化ボランティア推進事業」を始められ、活動団体に予算の範囲内において支援をし、競輪選手会等の会社も参加されて、地域のイメージアップ、散乱ごみの減少とポイ捨ての啓発になっているとの事でした。

三重県いなべ市(令和元年11月8日)

三重県いなべ市は、自動車関連企業等が進出し活力ある町であり、住み良さランキング三重県1位です。市内の中学校吹奏楽部から楽器購入予算確保依頼を受けたが、高額の為特別扱い出来ず、検討・調査をして「楽器寄付(物納)」と「ふるさと納税」を組み合わせた全国初「楽器寄付ふるさと納税」を発案され、感謝の心と笑顔溢れるまちづくりの醸成を図り、楽器を手にした生徒の笑顔の写真が印象的でした。当市においても実情調査・検討をしたいと考えます。



文教厚生委員会

羽島郡岐南町(令和元年11月18日)

岐南町は、平成25年度より東海3県で初めて、小・中学校給食費無料化を実施している。子育て世代の経済的負担を軽減し、児童生徒に感謝の心と郷土愛を持ち、将来は町の支え役になってほしいとの思いで導入されている。このことにより、定住効果、地域の活性化に繋がっている。効果として子育て世代が、住みやすい町と情報発信するなどして、人口の増加に貢献している。この事業は、子育て世代に優しい環境づくり、定住施策の一環として参考になった。



大阪府柏原市(令和元年11月19日)

柏原市は、平成18年、内閣府の「生きる学力育成」小・中一貫教育特区認定を受け、平成24年に全中学校区において小・中一貫教育を展開している。学校、家庭、地域のつながりの必要性を感じ導入された。教育委員会として、幼小中が連携し教育の方向性を共有し、子ども達が義務教育を終える15の春に、将来への夢と希望を持ち巣立つことを目指している。その環境づくりとして、各中学校区に11名の幼小中一貫教育推進教員を配置し、教育環境の充実に努めている。



議会報告会を開催しました



令和元年10月17日 土岐市生活学校

〈報告内容〉

議会改革特別委員会活動報告
行財政改革特別委員会活動報告

〈意見交換会テーマ〉

土岐市の将来について

令和元年度の議会報告会は、土岐市PTA連合会・土岐市生活学校の2団体と行いました。報告会を実施後、それぞれの団体と意見交換を行いました。いただいた主なご意見は以下の通りです。すべてのご意見は土岐市議会ホームページにて掲載しています。



令和元年10月15日 土岐市PTA連合会

〈主なご意見〉

- ・高齢者の自動車運転免許証の返納後の公共交通機関の確保、市民バスの本数・路線の拡充を考えてほしい。
- ・土岐市の未来について、子ども達が将来住みたい環境に整備して頂きたい。
- ・観光という観点からごみのポイ捨て禁止条例を制定できないか。

行政に対する要望については、市長に報告し、議会に対する要望等については今後検討、協議していきます。

編集後記

令和元年より令和2年となりました。令和元年は猛暑と台風の影響により自然災害の恐ろしさを報道などから体験いたしました。特に台風15号、19号により未だに避難生活をしている人がいると聞いております。当市に於いては、大きな被害もなく本当にありがたいことです。しかし災害はいつ襲ってくるか分かりませんので事前準備が必要です。日頃から防災、減災について考えて対策を取っておきましょう。さて、今年は1月19日よりNHK大河ドラマ「麒麟がくる」が始まっております。明智光秀は清和源氏土岐氏の一族であり土岐氏発祥の地は土岐市大富です。この事を後世に残しつつ土岐市の歴史・文化と古陶器の発祥の地、陶器の都としてアピールをして産業が活性化するよう市議会議員といたしましても頑張っていきたいと思います。

(文責：安藤学)



議会だより編集委員会

編集委員長：小関篤司 副編集委員長：和田悦子
委員：西尾隆久 楓博元 後藤久男 水石玲子 安藤学 後藤正樹